

## 2019年度第一回あんず日本語教師全体会 議事録

火曜；°(今野)°(高坂)°(内山)°(木村)°(庄司)基°(庄司)寿(反町)(比良)(川村)(澤幡)

金曜；°(長山)°(金岡)°(茅根)°(宇都木)°(大久保)(黒澤)た(鈴木)(黒澤)ひ(柴田)

水木；°(平澤)

○；出席者

1. 日時 平成31年4月14日（日） 11：30～14：30

2. 場所 喫茶店 アカシア 日立市鹿島町

3. 議事 記録者 庄司

| No. | 項目            | 内容                                                                               | 担当  | 期日 |
|-----|---------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----|----|
| 1   | 報告事項          |                                                                                  |     |    |
| 1.1 | 18年度活動報告      | 資料-1にて(高坂)Tが説明                                                                   | 高坂  |    |
|     |               | ・18年度の3教室・分室平均は学習者29名、教師20名<br>・教師不足が続いており対策要する他報告                               | —   |    |
| 1.2 | 18年度決算と19年度予算 | 資料-2にて(庄司)寿Tが説明                                                                  | 庄司寿 |    |
|     |               | 2019年度予算について承認された。<br>但し図書費は、上限ではなく必要なものは購入を図り、不足時は、別途積立金にて補填可能とする。              | —   |    |
| 1.3 | 2018年度の各教室状況  |                                                                                  |     |    |
|     | ① 火曜教室        | 最近の状況；学習者20名、教師9～10名。国別ではイラン、フィリピンが増加。10代(小学生、高校生)が入会している。ALTは減り、茨大関係者が大幅に増えている。 | 庄司基 |    |
|     | ② 金曜教室        | 学習者は、インド、ベトナムなど10名。教師は、再入会者を含め実質8名で活動。                                           | 長山  |    |
|     | ③ 水木教室        | 現在は、お試し入会中のベトナム人2名が加わり学習者は都合5名と増えるので、半田先生に応援教師をお願いしている。皆ベトナムからの技能実習生で能力試験に意欲的。   | 平澤  |    |
| 1.4 | 各教師クラスの現況     | 出席者各自に報告頂いた。詳細は割愛。                                                               | 全員  |    |
| 1.5 | 図書の状況報告       | 資料-3にて(庄司)基Tが説明                                                                  | 庄司基 |    |
|     |               | 図書紛失；学習者に貸し出したものが突然の帰国などで回収不能となる場合が考えられるので、学習者に貸し出す場合は、帰国時など良く確認してほしい。           | 全員  | 即刻 |
|     |               | 問題集など複数あると便利なものは複数購入可、また、特殊なテキストなどは蔵書として購入した上で、教師、学習者に長期貸出可能とする。                 | —   |    |
| 1.6 | 日本語能力試験       | 資料-4にて(庄司)基Tが説明                                                                  | 反町  |    |
| 1.7 | スピーチコンテスト     | 省略                                                                               | 庄司基 |    |
| 2   | 審議事項          |                                                                                  |     |    |
| 2.1 | 2019年度の活動と担当  | 資料-5にて(庄司)基Tが説明                                                                  | 庄司基 |    |
|     |               | 資料中、役割分担に(関根)Tとあるところは、退会に伴い空白に訂正お願い。                                             | —   |    |
|     |               | 各種イベントへの学習者の参加が少ないのはアルバイト等で忙しい場合もあるが、日本の文化を知る良い機会であることをよく伝えて参加を促して欲しい。           | 全員  | 即日 |

| No. | 項目                  | 内容                                                                                                                    | 担当        | 期日  |
|-----|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----|
|     |                     | 新入会教師には、外部組織との関わり各種イベントなどを最初にきちんと説明するべきである。<br>⇒組織図(資料-5-2/4)、会員の心得(資料-8)などを利用して教えるようにしていく                            | 庄司<br>金岡  | 即日  |
|     |                     | ⇒授業面についての講義は(高坂)Tに継続お願いする。(火曜)                                                                                        | 庄司<br>高坂  |     |
| 2.2 | 学習者表彰基準の見直し         | 資料-6にて(庄司)基Tが説明・・・異議なし                                                                                                | 庄司基       |     |
| 2.3 | 広報                  | 資料-7にて(庄司)基Tが説明                                                                                                       | 庄司基       |     |
|     |                     | 会員専用ページは学習者へ開放しても良いか。<br>⇒入会学習者には閲覧しても問題ない内容の掲載としているので開放可。情報共有などに有効活用して欲しい。                                           | 全員        | 即日  |
| 2.4 | その他                 | 資料-8「会員の心得」、資料-9「経費補助基準」の見直し<br>・・・異議なし                                                                               | 庄司基       |     |
|     |                     | 資料-10「会員名簿」                                                                                                           | 庄司基       |     |
|     |                     | 高校生会員は、教師のカウントには含まないこととする。                                                                                            | 庄司基       |     |
|     |                     | 退会される教師には、記念品など感謝を表すようにしてはどうか。⇒急で場合は已む無い場合を除き対応する。                                                                    | 庄司基       |     |
| 2.5 | 日本語ボランティア教師増員対策について | 席上配布資料(本議事録に添付)を参考に議論。<br>下記意見あり。他にもアイディア、意見があればメール、連絡帳(HP)で庄司宛にお願いします。最終的な集約は、「日本語グループ会」で行う。                         | 庄司基       | 4/E |
|     |                     | 養成講座を受ける人を増やすのか、受けた人が教師になる割合をふやすのかで対策が異なるので分けて考える必要あり。<br>⇒両方の対策が必要。                                                  |           |     |
|     |                     | FM日立等で、養成講座の募集を繰り返しアナウンスしてもらい露出度をあげることが有効。                                                                            |           |     |
|     |                     | NHKの18時台の茨城版放送「いば6」なども有効                                                                                              |           |     |
|     |                     | 日製関係の海外赴任経験のあるOB及びその奥様は関心が高いと思われるのでアプローチする価値あり。総務、人事等へのご協力お願いなどが必要だが。                                                 |           |     |
|     |                     | 養成講座は、各日本語教室での実体験を重視し、座学では味わえない教える喜びを経験できるように工夫する。単なる見学以上のものとし複数回以上体験してもらうのが良い。                                       |           |     |
|     |                     | 養成講座受講後、実際に教師になる段階で不安になり躊躇する場合もあるようだ。不安を解消する方法を考える必要あり                                                                |           |     |
|     |                     | 日立OBの社友会のメンバーにアプローチ(2名)しているがなかなか理解が得られていないが、やり甲斐もあり楽しいものだとすることをもっと伝えていく。                                              |           |     |
| 2.6 | 次回全体会議日程            | 2019/10/5(土)とする。<br>今回日曜日だったので次回は土曜日とする。                                                                              | 庄司基       |     |
| 2.7 | 勉強会実施               | 『みんなの日本語』20周年記念セミナーに参加した高坂さんに『みんなの日本語を使った基本的な教え方』について勉強会を実施してもらう。<br>4月16日(火)18:00~18:50<br>但し金曜教室は第一回は別途実施済みで二回目計画中。 | 庄司基<br>高坂 |     |
|     |                     | 以上                                                                                                                    |           |     |

## 日本語ボランティア教師増対策のアイデア

\* 取り敢えず皆さんの意見の羅列です。ほぼ原文のままです。これから集約が必要です\*

## アイデア募集中！

|    | 区分                           | 手段                                                                                                                                             | 備考                                                            |
|----|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 1  | 【伝える手段】                      | ① 特定の組織を通してお願いする<br>② 国際交流の場でビラを配る（音楽会方式）<br>③ 市報非読層へは<br>④ 会員自ら知人・友人を勧誘（選挙活動方式）<br>⑤ 日本語教室OBに再入会のお願い<br>⑥ ボランティア窓口に依頼                         | 教職員OB、会社OB<br>講演会、フェスタ<br>SNS？<br>1人当たり5人を目標<br>市民活動課、社会福祉協議会 |
| 2  | 【伝える手段】<br>・ボランティア広報誌        | ・ラジオやJWAYでの広報は、視聴者が極めて限られており、効果は薄いように感じる。市報に時折はさみこまれているボランティアの広報誌（社会福祉協議会？）への掲載ならば、ボランティアに関心がある層にアピールできるかもしれない。                                |                                                               |
| 3  | 【伝える手段】<br>・パンフレット<br>置場所の増加 | ・市役所、支所、図書館、に置かせてもらえないか。                                                                                                                       |                                                               |
| 4  | 【伝える手段】<br>・ポスター掲示           | パンフレットのみでなくインパクトのあるポスターを作りひと目のつくところに掲示<br>Ex. 「わたしに日本語を教えて下さい！」(外国人学習者の写真の上)                                                                   |                                                               |
| 5  | 【活動のPR】                      | ① TVに取材をお願いする<br>② 新聞に取材をお願いする<br>③                                                                                                            | NHK、日立ケーブル<br>茨城、朝日、毎日、読売                                     |
|    |                              |                                                                                                                                                |                                                               |
| 6  | 【伝える内容】                      | ① いかに楽しくて、やりがいがあるか<br>② 教室の現場の状況<br>③ 外国人の状況<br>④                                                                                              | 人数、国籍、職業                                                      |
| 7  | 【伝える内容】<br>・不安の解消            | ・英語ができなくてもOKを強調する<br>・就労者でも可能<br>・初心者でも基本教本があるので安心                                                                                             |                                                               |
| 8  | 【伝える内容】<br>・講座受講条件           | ・市報で受講生を募集する際に、「実際に受講後活動を継続できる人」をより強調した文言で市報に掲載する。                                                                                             |                                                               |
|    |                              |                                                                                                                                                |                                                               |
| 9  | 【講座内容】<br>・懇談会充実             | ・ボランティア養成講座の終わり頃に、懇談会を設けてみんなで話をしているが、「講座を受けたものの、実際に日本語を教えることの不安感」を訴える受講生が見受けられる。現役ボランティアと1対1で個別面談のように話ができると、聞きにくい事や不安な事も相談しやすいのではないか。          |                                                               |
| 10 | 【講座内容】<br>・教室見学のカリキュラム組入     | ・講座の座学プラスボランティア教室での実習（見学）を数回必須として、実習（見学）までトータルで行った人を修了とする。<br>実際に1か月なり、3回なり、本人が参加しやすい場所と曜日のいずれかのグループに続けて参加してみれば、活動への理解が深まり、雰囲気もつかめて、その後継続しやすい。 |                                                               |
| 11 | 【講座内容】<br>・教室見学時の実体験充実       | 見学に来たときに、教えている先生と一緒に教える体験をする。事前に現在どの課を教えているかを知らせて準備をもらい、実際に一緒に教えてもらい楽しさを経験してもらう。                                                               |                                                               |

|    |                        |                                                                                                                    |  |
|----|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 12 | 【講座内容】<br>・懇談会充実       | ボランティア養成講座のなかで「現在ボランティア活動をしている人のモチベーション」などを話してもらい、さらに現在の受講生にも参加してもらって、軽い会食パーティなどをしてみてはどうかと思います。つまり [以下の4項目]        |  |
| 13 | 【講座内容】<br>・懇談会で歴史的背景説明 | 1. 現在の日本語教室の歴史（日立の国際友好活動の歴史（ミャンマー（？）支援から始まった？）福地さんからあんずの冊子をいただきましたが、この冊子に掲載されているようなことをすこし詳しく話をすると、協力してくれる方もいると思います |  |
| 14 | 【講座内容】<br>・懇談会で充実      | 2. 現在日本語教室で教えていて楽しいこと、感謝されたこと、学んだこと<br>2,3人の異なった年齢、立場の方の現役教師にお話をしてもらう（毎回でもよいかも？）                                   |  |
| 15 | 【講座内容】<br>・学習者の視点      | 3. 逆に生徒の代表に、教えてもらって役に立つこと、なぜ日本語を習っているかなどを話してもらう                                                                    |  |
| 16 | 【講座内容】<br>・動画で具体的に紹介   | 4. 教授風景の動画紹介、使用テキストの例など（なるべく写真や動画で紹介した方がよいと思います）                                                                   |  |
|    |                        |                                                                                                                    |  |
| 17 | 【待遇】                   | ① 養成講座終了後入会者には、教材を無償支給（食改方式）<br>②                                                                                  |  |
| 18 | 【待遇】<br>授業負担軽減         | あと、毎週講師役をすることに負担を感じている教師の方もいらっしゃるようなので、講師が休んだ時代わりの授業ができる仕掛けがあるとよいかと思います。                                           |  |
| 19 | 【待遇】<br>・オンラインで在宅授業    | あと、場合によっては、オンラインでの授業（小生は今やっていますが）を有償提供するなんて言うのもよいかもしれません。                                                          |  |
| 20 | 【待遇】<br>・授業外業務軽減       | 入会後の授業以外の役割分担の軽量化                                                                                                  |  |
|    |                        |                                                                                                                    |  |
|    |                        |                                                                                                                    |  |